

第8回日本未病システム学会近畿地方会のご報告

平成28年7月30日(土)、洛和会京都厚生学校において、第8回日本未病システム学会近畿地方会を開催いたしました。

平均寿命が世界一となった現在、今後は生活習慣病を予防し、健康寿命をいかに延ばしていくかが重要となり、本学会が果たすべき役割は非常に大きいと考えます。そのなかで、口腔機能を高め、口腔感染症を予防することは健康寿命を延ばすうえで、非常に重要なテーマです。そこで、今年度の近畿地方会のメインテーマを【口の健康は生活習慣病を未病に防ぐ】といたしました。

シンポジウムでは、メインテーマに合わせて、【チーム医療における口腔管理】というテーマで他職種(医師・歯科医師・歯科衛生士・看護師・管理栄養士)の立場から口腔管理の重要性を議論いたしました。

また、基調講演では、生活習慣病の代表である【糖尿病と歯周病】をテーマに糖尿病専門医と歯周病専門医の先生にご講演をいただきました。さらに、ランチョンセミナーでは、糖尿病と歯周病の関係性を通して【これからの医科歯科連携】というテーマで連携に注目いたしました。

また、一般演題では、様々な職種(歯科医師・管理栄養士・介護福祉士・歯科衛生士・看護師)からエントリーがあり、日頃のご活躍をご発表いただきました。

本大会では、多くの各専門領域の先生方やコメディカル・コデンタルの方々にご参加いただき、活発な意見を交わしました。生活習慣病を未病に防ぐためには、口腔管理が必要であることを再認識いたしました。

今後、この地方会が、「未病歯科」としての分野確立の助走になればと願います。

お忙しい中、また真夏の暑い中、ご参加いただき、誠に有難うございました。